

曼荼羅 × 悲劇的

極彩色とモノクローム、二つの宇宙が轟き、絡み合う。

首席各演指揮者

山田和樹

黛敏郎：曼荼羅
交響曲

マーラー：交響曲第6番

短調
「悲劇的」

2023 1.15 (日)

読売日本交響楽団 第7回川崎マチネーシリーズ
14時 ミューザ川崎シンフォニーホール S ¥6,000
A ¥5,000

2023 1.13 (金)

読売日本交響楽団 第69回名曲シリーズ
19時 サントリーホール S ¥7,600 A ¥6,600
B ¥5,600 C ¥4,600

Conductor= MAZUKI YAMADA
MAYUZUMI: Mandara Symphony
MAHLER: Symphony No. 6 in A minor "Tragische"
Popular Series No. 659
Fri. 13 Jan. 2023, 19:00 Suntory Hall
Kawasaki Matinée Series No. 7
Sun. 15 Jan. 2023, 14:00 MUZA KAWASAKI Symphony Hall

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・12/29~1/3は休み)

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
協力：ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) ※1/15公演

世界のヤマカズが振る超重量級プログラム。

極彩色の曼荼羅から宇宙的エネルギーを導き、グロテスクな闇をハンマーで打ち砕く！

年明け早々、首席客演指揮者の山田和樹が、黛敏郎の「曼荼羅交響曲」とマーラーの交響曲第6番「悲劇的」の二つによる攻めた超重量級プログラムを披露する。

山田和樹のマーラーといえば、2015年から17年にかけて行われた日本フィルとのマーラー・ツィクルスでの成功が記憶に新しい。武満徹作品と組み合わせ、独自のマーラー像を作り出した。20年2月には読響と交響曲第1番「巨人」を演奏。起伏に富んだ思い切りのよい表現で絶賛され、CD化もされた。

今回は80分もの長さの大作、第6番「悲劇的」を取り上げる。暗く重苦しく、どこかグロテスクで不吉な予感に支配された作品だ。唐突に感情が高まり、幸せを掴もうとするかのように熱が入るなど気分の浮き沈みが激しく、混沌とした印象を持つ。打楽器の使用も象徴的で、カウベルが不気味に響き、最終楽章ではハンマーが打ち鳴らされ、世界をグラッと揺るがせる。山田のタクトは、集中力を切らさずに弦楽器を巧みにドライブし、管楽器をたっぷりと歌わせ、マーラーによる複雑で分厚いテクスチャを露わにするだろう。マーラーの内的宇宙を、山田がどのように描くのか、注目したい。



©読響

前半には、戦後日本の現代音楽を牽引した黛敏郎の「曼荼羅交響曲」を演奏する。この作品は、1958年「涅槃交響曲」での成功に続き、60年に初演され、日本の作曲界に多大な衝撃を与えたと言われている黛の代表作の一つ。師の伊福部昭やストラヴィンスキーを思わせる土俗的なリズムや、ラヴェルやメシアンの影響を感じさせるカラフルなサウンドが特徴的で、黛が追求した西洋とは異なる独自の交響曲となっている。数々の邦人作品を手掛けている山田は、スコアから色彩感豊かにリズムやサウンドを描きだし、黛の描いた独特の神秘的な世界へと誘うだろう。

二つの交響曲が、どのように響き合うのか、山田の手腕に期待したい。



©読響

山田和樹 首席客演指揮者

生命力あふれる音楽で、国際的に活躍する日本のエース。2018年4月から読響首席客演指揮者。東京芸術大学指揮科卒業。09年プザンソン国際コンクール優勝。BBC響を指揮して欧州デビュー。パリ管、ベルリン放送響、フランクフルト放送響、フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル、チェコ・フィルなどへ客演。22年にはバーミンガム市響とBBCプロムスにデビューし話題を呼んだほか、モンテカルロ歌劇場でベルク「ヴォツェック」、ベルリオーズ「ファウストの劫罰」を指揮し、成功に導いた。11月にはモナコ公国の文化功労勲章シュヴァリエを受章。スイス・ロマン管首席客演指揮者を経て、現在バーミンガム市響首席客演指揮者(23年4月から首席指揮者兼アーティストックアドバイザーに就任予定)、モンテカルロ・フィル芸術監督兼音楽監督、東京混声合唱団音楽監督兼理事長。

@Zuzanna Special

読売日本交響楽団 第659回 名曲シリーズ

2023年 1月13日(金) 19時開演

サントリーホール

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,600 / A ¥6,600 / B **SOLD OUT** / C **SOLD OUT**

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

読売日本交響楽団 第7回 川崎マチネーシリーズ

2023年 1月15日(日) 14時開演

ミュージア川崎シンフォニーホール

神奈川県川崎市幸区大宮町1310 Tel. 044-520-0100

S ¥6,000 / A ¥5,000

●JR「川崎」駅中央改札より徒歩3分 ●京浜急行「京急川崎」駅中央改札より徒歩8分

■学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。 【読響ホームページ】 <https://yomikyo.or.jp/>

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休/12/29~1/3を除く

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (13日)

ミュージア川崎シンフォニーホール 044-520-0200 <http://muza.pia.jp/> (15日)